日本作業療法士協会主催　2024 年度日本パラスポーツ協会公認
中級パラスポーツ指導員養成講習会　実施報告書

地域社会振興部　地域事業支援課　スポーツ振興班

2023 年度に続いて、協会主催で 2 回目の中級パラスポーツ指導員養成講習会を開催した。2023 年度は多くの会員の参加希望をお断りした経緯を踏まえて、2024 年度はより多くの会員に受講いただくため、実技を 2 拠点（東京と大阪）で実施することにした。

募集期間と申込結果

協会ホームページ、機関誌、メール等で広報活動を実施し、2024 年 5 月～8 月で募集を行った。各日程定員 40 名に対して A 日程に 51 名、B 日程に 48 名（合計 99 名）の応募があり、昨年度に引き続き会員の興味関心の高さがうかがえた。その後、厳正なる抽選の結果、受講生が決定した。

開催結果

10 月 12 日・13 日に座学(オンライン)を行い、10 月 19 日・20 日（A 日程：東京)、11 月 23 日・24 日（B 日程：大阪）に実技(対面)を開催した。座学は 76 名が受講したが、実技の際に A 日程・B 日程共に各 1 名、諸事情で受講が叶わなず、最終受講生は A 日程が 36 名、B 日程が 38 名であった。

74 名全員が最終課題（レポート提出）を通過し、全ての課程を修了した。

募集要項

研修分類	重点 教育部
概要および目的	【目的】 日本パラスポーツ協会公認中級パラスポーツ指導員資格を取得するための研修を実施することで、作業療法士が積極的にパラスポーツ支援に関わり、パラスポーツ団体、パラスポーツに関わっている人、パラスポーツに取り組む当事者に、作業療法士の役割を認知していただく。また、地域でスポーツ支援ができる人材を増やすと同時に、地域での活動環境を整えていくことを目標とする。 【概要】 座学（オンライン）2 日間（15 時間）　【A 日程・B 日程共通実施】 実技（対面実施）　2 日間（14.5 時間）
対象者 （応募資格）	日本作業療法士協会正会員かつ今後継続的にパラスポーツに関わりたいと考えている作業療法士で、公認資格取得後の追跡調査（アンケート）にご協力いただける方
日程	【オンライン座学：A 日程・B 日程共通実施】 2024 年 10 月 12 日(土)～13 日（日）：座学オンライン 【対面実技】 2024 年 10 月 19 日（土）～20 日(日)：(A 日程・東京) 2024 年 11 月 23 日（土）～24 日(日)：(B 日程・大阪)
場所	実技： 【10/19（土)】東京都多摩障害者スポーツセンター（東京都国立市富士見台 2 丁目 1-1） 【10/20（日)】東京都障害者総合スポーツセンター（東京都北区十条台 1 丁目 2-2） 【11/23（土）-24（日)】大阪市長居障がい者スポーツセンター（大阪府大阪市東住吉区長居公園 1-32）
参加費	￥19,500（4 日間の受講費+テキスト代）

日本作業療法士協会の作業療法士対象カリキュラム

領域	講習科目	内容	時間
医療	障がい各論	各種障がいに関する医学的・心理的な特性を学び、日常生活やスポーツ現場で関わるうえでの留意点について学ぶ。視覚障がい（1.0h）、聴覚・音声言語障がい（1.0h）、知的障がい(発達障がいを含む)（1.5h)	3.5
体育学	スポーツの意義と価値 （※演習含む）	スポーツが本来もつ、身体的・文化的・社会的な意義や価値について学ぶ。また、障がい者にとってのスポーツの意義と価値についても学ぶ<演習：スポーツのインテグリティについて話し合う>	1.5
	スポーツ心理学	障がい受容について受傷からの心理的プロセスを学ぶ。さらに障がい者の体験談を通して、スポーツの心理的効用と心理的支援の方法について学ぶ。	1.5
	トレーニングの基礎知識	各種トレーニングの特徴を理解し、障がいに留意したトレーニングプログラムに組み立て方や実施上の留意点について学ぶ。	1.5
障がい者スポーツ	パラスポーツと作業療法士	作業療法士として、パラスポーツの造詣を深めるとともに、関わる意義やその方法について学ぶ。また、公認パラスポーツ指導者制度の概要を学び、指導者の役割についても学ぶ。	1.5
	地域におけるパラスポーツ振興	パラスポーツに関わる競団体や関係所管について理解し、連携することの必要性について学ぶ。	1.5
	全国障害者スポーツ大会の概要	我が国のパラスポーツを知る上でその歴史的な背景も含め、全国障害者スポーツ大会の概要（実施競技を含む）を学ぶ。また、大会に参加するスタッフの役割についても学ぶ。	2.0
	全国障害者スポーツ大会 の障害区分	全国障害者スポーツ大会の障害区分を正しく理解し、障害区分を判定する際の留意事項等を学ぶ。	1.5
	障がい者のスポーツ指導上の 留意点と工夫	各障がいに応じた指導の事例を通して指導上の留意点（リスク管理を含む）について学ぶ。	2.0
	補装具の理解	補装具の種類や特徴を学ぶとともに、指導者として最小限知っておくべき事柄やスポーツ指導現場での留意点を理解する。	1.5
実技・実習	視覚障がい者のスポーツ実習	視覚障がい者が行うスポーツの体験を通してその種目の楽しさやルールを学ぶとともに、介助法（手引）やコーチング（方向指示・言葉かけを含む指導）の仕方を含め、安全にスポーツを実施するための留意事項について学ぶ。	1.5
	最重度の障がい者のスポーツの実際（重症心身障がい児・者を含む） （※見学・実技可）	最重度の障がい者（重症心身障がい児・者を含む）のスポーツを理解し、様々な創意工夫の実例について学ぶ。	2.0
	全国障害者スポーツ大会 実施競技の実習	全国障害者スポーツ大会の実施競技を体験する中で、その競技特性やルールについて理解を深め、障がい者がスポーツを実施する際の指導上の留意点について学ぶ。（他実習と時間と実施競技が重ならないようにする）	6.0
	パラスポーツとMTDLP	パラスポーツの実践事例を紹介し、ケーススタディーを通して、身体評価、残存能力の評価等に加え、実践するスポーツの競技特性の理解や自助具等の環境設定等により、障がい者のスポーツへの適用について考える。	2.0
レポート	活動実績報告	パラスポーツに関わるきかけ作りとして、講習会終了後に個別に地域でのパラスポーツに関わる活動をし、その内容をレポートにまとめ提出する。	講習後作成提出
備考	講習会の中で、グループワークやアクティブラーニングを通じてコミュニケーション能力の向上をめざす。		29.5

日程表

2024年度 日本パラスポーツ協会公認　中級パラスポーツ指導者養成講習会　日程表（予定）

	場所	日程	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
前期	オンライン実施	10月12日（土）	8:20～受付 8:40～開講式	9:00～10:30（1.5H） パラスポーツと作業療法士 日本作業療法士協会　常務理事 作業療法士　酒井　康年	休憩	10:40-12:10(1.5H) スポーツ心理学 アネックス湊川ホスピタル 作業療法士　小黒　修	12:10-12:50 昼食	12:50-13:50（1H） 障害各論（視覚障害） 日本眼科学会専門医 清水　朋美	休憩 14:00-15:00(1H) 障害各論 （聴覚・音声言語障がい） 筑波技術大学 中島　幸則	休憩 15:10-16:40(1.5H) 障害各論（知的障がい、含：発達障がい） 東京保健医療専門職大学 作業療法士　畠山 久司	休憩	16:50-18:20 (1.5H) 補装具の理解 日本作業療法士協会　副会長 作業療法士　大庭　潤平	
		10月13日（日）	8:30～受付	9:00～10:30（1.5H） スポーツの意義と価値（演習） 帝京平成大学 作業療法士　鎗田　英樹	休憩	10:40-12:40(2H) 全国障害者スポーツ大会の概要 作業療法士　那須野　利喜	12:40-13:20 昼食	13:20-14:50(1.5H) 全国障害者スポーツ大会の障害区分 兵庫県障害者スポーツ協会 理事長　増田　和茂	休憩	15:00～16:30（1.5H） トレーニングの基礎知識 山口コ・メディカル学院 作業療法士　徳若　雅之	休憩	16:40-18:10(1.5H) 地域におけるパラスポーツ振興 笹川スポーツ財団 政策ディレクター　小澤　和也	
後期A	東京都多摩障害者スポーツセンター	10月19日（土） 体育館 集会室		9:00～受付	9:30-11:30(2H) 障がい者のスポーツ指導上の留意点と工夫 （実技・演習） 東京都障害者総合スポーツセンター スポーツ支援課　中村　拓也	11:30 ～12:15 昼食	12:15～14:15（2H） 全国障害者スポーツ大会実施競技 （実技：車いすバスケットボール） 東京都多摩障害者スポーツセンター スポーツ支援課　市川　大貴	休憩	14:30～16:30（2H） 全国障害者スポーツ大会実施競技 （実技：ボッチャ） 東京ボッチャ協会 小峰久美	休憩	16:45～18:45（2H） 全国障害者スポーツ大会実施競技 （実技：陸上） 東京都多摩障害者スポーツセンター スポーツ支援課 橋本　和秀	
	東京都障害者総合スポーツセンター	10月20日（日） 多目的室 研修室		9:00～受付	9:15～10:45（1.5H） 視覚障がい者のスポーツ （実技：STT、伴走等） 東京都障害者総合スポーツセンター スポーツ支援課　矢壁　彩	休憩 11:00～13:00（2H） 最重度の障がい者のスポーツ （実技：ハンドサッカー） 東京都立光明学園 主任教諭　山田　晴信	13:00-13:45 昼食	13:45～15:45（2H） パラスポーツの生活化に向けた実践事例の検証（演習） 北海道医療センター 作業療法士　田中　栄一 （助手：佐藤　好）	休憩	16:00～閉講式	16:20～17:00 館内見学（自由参加）		
後期B	長居障がい者スポーツセンター	11月23日（土） 体育室 会議室1～3		9:05～受付 体育室	9:25-11:25(2H) 最重度の障がい者のスポーツ （実技・演習） 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター 河合　俊次	11:25 ～12:05 昼食	12:05～14:05（2H） パラスポーツの生活化に向けた実践事例の 検証（演習） 京都橘大学 作業療法士　中井 秀昭	休憩	14:15～16:15（2H） 障がい者のスポーツ指導上の留意点と工夫 大阪市障害者福祉・スポーツ協会 スポーツ振興室　福嶋　尊史	休憩	16:25～17:55（1.5H） 視覚障がい者のスポーツ （実技：STT、伴走等） 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター 内藤　一美		
		11月24日（日） 体育室 会議室1～3		9:00～受付	9:15～11:15（2H） 全国障害者スポーツ大会実施競技 （実技：陸上） 大阪市障害者福祉・スポーツ協会 スポーツ振興室　角正　真之	11:15-12:00 休憩	12:00～14:00（2H） 全国障害者スポーツ大会実施競技 （実技：ボッチャ） 大阪市長居障がい者スポーツセンター 仲本 清文	休憩	14:15～16:15（2H） 全国障害者スポーツ大会実施競技 （実技：車いすバスケットボール） 大阪市障害者福祉・スポーツ協会 スポーツ振興室　梶本　佳史	休憩	16:30～閉講式	16:50～17:15 館内見学（自由参加）	

総括

本年度の講習会では、ルールの変更、道具の工夫を盛り込んでいただき、また新しい競技の立案の講義では、片付けにも競技要素を取り入れ「面白く」「楽しく」行うことで片付けを身に付けていくという発達障がいの方、子ども向けの革新的な内容もご紹介いただいた。

e-Sports については重度障害の方でも参加可能であり、作業療法士が活躍できる領域であると考えられる。既に何名かの作業療法士がこの領域で活動に取り組んでいることから、今後は中級パラスポーツ指導員養成講習会の講義にも、日本パラスポーツ協会と協議を行いながら、e-Sports を積極的に取り入れていきたい。

今年度も養成講習会を開催したことで受講生から多くの意見や情報交換を行うことができた。実践報告書（最終レポート）でも各地域で修了者が意欲的に活動に取り組んでいることが分かり、興味深い内容が提出されている。本会の「中級パラスポーツ指導員養成講習会事業検討委員会」とも連携を図り、日本作業療法士協会主催の中級パラスポーツ指導員養成講習会の継続開催を目指す。

2025 年度に向けて

2025 年度は、福岡のクローバープラザ 1 拠点での開催が決定した。

2025 年度は、日本作業療法士協会としてのトライアル 3 年間の最終年であり、「中級パラスポーツ指導員養成講習会事業検討委員会」からこの 3 年間の実績を理事会へ報告する。2026 年度以降も継続して開催することの意義について提案を行う予定である。

そして、2023 年度・2024 年度の修了生に対するアンケート（パラスポーツ支援活動状況アンケート）を継続し、修了生同士の横のつながりを強化するとともに、地域の都道府県・政令指定都市障がい者スポーツ協会、都道府県作業療法士会、当事者団体等のステークホルダーとの連携も創出していきたいと考える

謝辞

本講習会の開催実現にあたり、日本パラスポーツ協会の皆様の継続的なご指導とご助言、また、東京都障害者スポーツ協会、大阪市障害者福祉・スポーツ協会、東京都障害者総合スポーツセンター、東京都多摩障害者スポーツセンター、大阪市長居障がい者スポーツセンター、大阪市舞洲障がい者スポーツセンターの職員の方々には講師の紹介・調整、会場・備品の予約手配、当日の運営など、細部にわたるご支援ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。そして、本講習会の趣旨を理解し快くご協力くださった、座学と実技の講師の皆様に心から感謝いたします。誠にありがとうございました。

2025 年 3 月